夕刊
磐城新聞
十一月十三日發行
發行所 磐城新聞社
(日曜祭日翌日休刊)
東京振替一〇一五五六五八番

天氣豫報
小名濱測候所發表
今晩　北の風晴
明日　同

或る風景
シナリオ
森たかみち

(上)

〔ばつたの家〕

遮断機が斜めに蒼空を断つてゐる踏切。

ミチヲはグリコの箱の中から小さい景品を摘まみ出して熱心に組み立てゝゐる。

タイチは口を動かし乍ら線路の遠くを見てゐる。

線路の遠く、汽車は來ない。

『タイちやん、ほら、椅子とテーブル』ミチヲは豆のやうな椅子とテーブルを掌に並べてタイチに見せる。

椅子は二つある。

『やあ！小さいテーブル』

タイチは人指し指でちよいと其のテーブルを轉がす。

ミチヲは蹲んで、遮断機の下の白い土の上に其れを並べる。眞中にテエブルを置く。

『もうちつきた客さまが來るよ。だけどお留守なんだ』とミチヲは蹲んだ儘見てゐる。

豆のやうな椅子はぼやけて行つて本當の安樂椅子になつてしまふ。テーブルには白いクロースが掛けられ桔梗の花を挿した花瓶が置いてある。……それはまた元の玩具になつてしまふ。

『歸ろ』ミチヲは立つて歩き出す。椅子は其の儘。

タイチは椅子を見返り乍ら、それでも矢つ張り放つといて行つて了ふ。

椅子とテーブルが小さな影を作つて、ぢつと置かれてゐる。

タイチは路傍の草花を摘む。枯れ始めた其の草花はひどく貧弱である。

二人、桑畑の傍を通る。

桑の木は稀に落葉する。畑の土は落葉で覆はれてゐる。『がさ――』と蝗が飛び出す。『ばつたの家に桑の葉がね』とミチヲの聲。

『ミチちやん、今夜、僕んとこで寢るだろ』とミチヲの顔を見るタイチの顔。

『うん』と肯くミチヲの顔に、口と髭だけ殘して眞白に繃帶されたゼンスケの顔がダブルする。

×

暗い電燈の下でイチベエは莨をのんでゐる。縞の袷衣を素肌に着て、衿から日焦けした胸を覗かせ胡坐からは艶々した太腿を露はしてゐる。『間違へられて斬られたなんて馬鹿なこつたなあ』と呟き、煙管で莨盆を叩く。

ハナキは、もつそりと默つて電燈を見てゐる。紺カスリの袷衣をきちんと着て衿から白いシャツの第一ボタンだけが見えてゐる。

ミチヲはタイチと枕を並べて寢てゐる。眠つてゐるやうに見えるが、こそ〳〵と布團の中へ潜り込み、聲を忍ばせて泣く。

イチベエとハナキ、そを見て暗然たらな。

聖戰途上
伊藤弘道

○我等の船今危險地帶ゆくと云ふ甲板に淡き夏の午後の日（途中）

○非常かゝり武裝かためて命まちつ闇につどひて煙草吸ひ居り

○月餘經て着きし故郷の友の文秋の匂ひを嗅がむとするも

○ふるさとの文はなつかしその文にかすかに百舌の鳴く聲きこゆ

○うつゝなる寢ざめの耳に雨きこゆこゝはふるさとにあらざりにけり

賀田代技師陞叙
珠雲　小野務平

篤學嗣昔手把書
天文地象腹中儲
論勳今日奏昇叙
贏得同儕第一譽

11月14日

△貝原益軒生る(寛永七)△モネ生る(一八四〇)△始めて東京に幼稚園を置く(明治九)△有田外相長江開放の時期に非ざる旨英米佛に回答(昭和一三)

○

あした食ふその米さへも持たないで只飲んでゐる濱の漁師等　久一

講談　振袖横町 (77)
須藤鐘一
萩原萬象畫

襲擊(二)

司馬の所を辭し去つた織衛は、ふら〳〵と歩いてゐるうちに、ふと同志平野松之助のことを思ひ出した。最も熱心な同志なのだ。

松之助は本郷の弓町に住んでゐた。

湯島三丁目から弓町までは間近である。

織衛は、松之助の許に立寄つたが松之助は留守であつた。

そこで織衛は急に淋しくなつた。

別に理由のある淋しさではなかつた。

最も熱烈な同志、最も仲のよい者を訪ねて、その得意の意中を語らうとしたのが、留守であつたのでの淋しさである。

その淋しさを紛らすために、同志河森馬之進の住む小石川指ケ谷町まで行くのは、さまで遠くはないのだが、もし、また、馬之進が不在でもあつたならば、その淋し味は倍加されるやうな氣がして足が進まなかつた。

――とは云つても、自家へなんか歸りたくはなかつた。

そんな風に考へてゐると、ます〳〵淋し氣に襲はれて來る。

織衛は不圖氣がついて見ると、水道橋際を歩いてゐた。

橋の側に一軒の一膳めし屋があつた。

多勢の飲んでゐる所で、酒を飲めば、この淋し味も消えるであらう――と思つた織衛は、その店へ這入つた。

この店は、なか〳〵繁昌してゐた。お客は主として馬子や、駕舁や、人足と言つた者たちであつた。

浪人者なども、時々姿を見せるのであつた。

織衛は、座敷と云つても盤の上と云つた程度であつたが、そこには上らないで黒ぴかりのする醤油樽へ腰を下した。

酒と肴を注文して、チビリチビリと飲みながら、馬子や人足や駕舁などのむだ話に耳を傾けてゐた。

こんな連中の話は、なか〳〵世の中の眞相をうがつたことを言ふことを知つてゐた彼であつた。

織衛の隣りの食卓にゐた商人風の男――、こいつか差し向ひの、若い印半纏を着た男に話こんでゐた。

犬の話をしてゐたらしい。

『――それあ、なるほど、お前さんの言ふ通り、犬は畜生だからと云つたつて、別に咬み付きもしないければ吠えつきもしないものを、足をあげて蹴つ飛ばすなんてするかね、自身番所に呼ばれて、半日も小言も云はれるんだよ、お蔭で今日の買上はふいになつちやつたよ』。

がみ〳〵と小言を云つてしまつたあとで、猪口を口に持つて行く

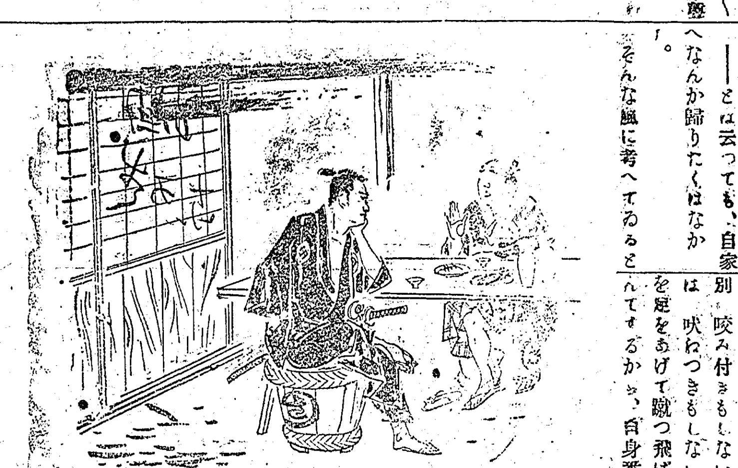
印半纏を着た男は、默つて聞いてゐたが、

『俺ア、今日の日當は、半日分といいよ……』。

商人態の男は、飲みさしの猪口を下に置いて、

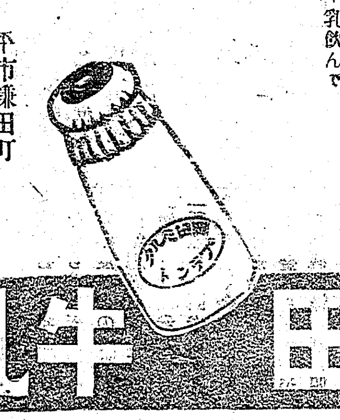
『ナニ、日當のことを言つてるんぢやないよ。――これからもあることだから、無闇矢鱈に犬を蹴とばしちやいけないと言ふんだよ。それが爲めに、どんなお咎めを受けないものでもないからね、そんなことで、お咎めを受けたりなんしては、お互につまらないと言ふもんだからね、それで、さう云ふんだ』。

織衛は、この人の會話に耳を傾けてゐた。



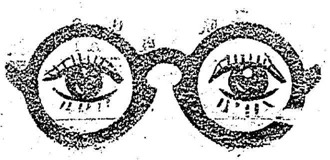
酒トマヅイ
おでんの
樂ちやん
平市田町花ノ里
電話三三番

稻荷丸　皇漢オルモン藥
キキメ
◇腹痛……には三粒デキキマス
◇胃痙攣……ムナサキ痛みには奇妙ニキヽマス
◇小見の諸病……一日三回のませて見れば靈妙な作用で健康体となる
◇心臓病……少しの運動にもイキ切れドウキの高い方御實驗下さい
◇自動車醉……乗車前十分位ニ三粒服用セバヨイマセン
◇肺炎……一粒腹中に入れば必驗を强め精力活力を增加す
定價　四十五粒―五十錢　百二十七粒―壹圓　二百七拾粒　弐圓五十錢　五百五拾粒　五圓
本舗　イナリ丸　金子製藥所　茨城縣笠間町(稻荷神社前)
(有名藥局にあり)
――代理店――
平市古鍛治町一〇(縣社下)
阿康藥局
電話四十四番
振替東京三〇〇六五番


低温殺菌
伸びよ太れよ牛乳飲んで
平市鎌田町
電話五一
岡田牛乳

ミシン
平驛前大通り(シンガー)
石川ミシン店
世界代表　シンガーミシン
日本代表　アサヒミシン
ニツポンミシン
コントロール
◎月賦販賣　◎無料教授

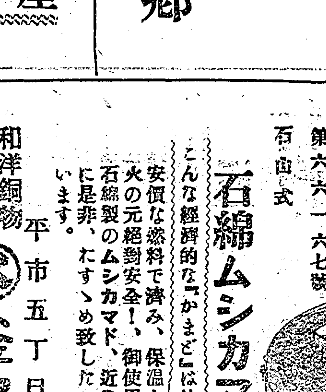
おでん
お酒のあとに
おけさめし
おでん
茶めし
酒の家
平市三田小路(三丁目裏)
味郷

メガネ專門の店

メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
平市本町二丁目
玉屋

磐城の御みやげ品
改め靈峰羊かん
名物　みやま羊羹(名産梨かん)
――赤井嶽、二ツ箭山、山祇神社參詣土産！
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同　七濱……のり羊羹
同　豊間……辨天羊羹
◎各種　一本　十錢
製造販賣元　平屋賣店
小川郷驛前

移轉開業(九月二十日ヨリ)
耳鼻咽喉科專門
増田醫院
平市紺屋町(吉田眼科前)
電話六五一番
小生病氣療養ノ爲、休院致シ居リ候處今般全快上記ノ場所ニ移轉開業仕リ候間御通知旁々御挨拶申上候
敬白
増田　之

ミツウロコ煉炭
木炭不足の折柄無臭にして最も德用な木炭代用ミツウロコを御進め致します。是非御利用御用命を願ます
三菱ガソリン諸油類
ミツウロコ煉炭豆炭　特約店
市原商店
平市一丁目　電話二四四番

實用新案　第一八七四三〇號
意匠登錄　第六六六一六七號
石山式
石綿ムシカマド
こんな經濟的な『かまど』は他にありません
安價な燃料で濟み、保温力が强く堅牢で火の元絶對安全！、御使用に御便利な！石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、おすゝめ致したい新製品で御座います。

和洋銅物金物問屋
平市五丁目
釜屋商店

日本石油株式會社特約店
フイルンケサン石油株式會社特約店
福島縣平市一丁目(電話六十一番)
株式會社關彰商店平支店
本店　茨城縣下舘町　電話五五、三三九番
支店
茨城縣土浦町田宿　電話六五三番
茨城縣久慈町　電話一三七番
茨城縣多賀郡關本驛前　(電 大津一四七番)
福島縣四倉驛前　電話平潟五四番
福島縣小名濱町　電話四八番
油槽所(常磐線泉驛前)
海岸給油所(大津港、平潟港、江名濱)
ガソリン給油所(土浦町新國道日本石油給油所 電話八二四番)

開業
内臓外科
整形外科
平市大町二番地
入院隨時
醫學博士　内木宗八
内木外科醫院

女中さん入用
年齢十五六オヨリ二十五オ迄
御希望の方至急御來談下さい。
やよい館
白銀町　電話七六番

晝夜診療
外科一般　内臓外科
レントゲン科　泌尿器科
北川外科
血液検査毎日
◎入院隨時
平市新川町(電四六四)
醫學博士　北川芳夫

月曜論壇

市內父兄へ警告

「前後六年の長日月に渉つて手塩にかけてさへ全幅の正鵠を掴み得ない各兒童の學力德性を神ならぬ中學校當局が僅か二三分の面接で果して完全な考査が出來るだらうか」と云ふ篠山市教育會長氏の感想も「當局の三者綜合考査が今や動かせぬ既定の方針となつた今日、衝に當る者としては如何にしてより親切に之を行ふか丈けが殘された問題である」としてゐる淺水磐中校長の述懷もこれ悉く一部農漁山村のそれを除く全般的教育關係者の云はんとする中等學校入學考査改正への苦衷と見ることに大きな誤りが無いと思ふ。適種生存の理法から競爭の必然を認めて居る淺水校長が普遍妥當性を欠く學科ぬきの考査に出でねばならぬ餘儀なき自家撞着と從來の合格率七割內外から急轉二三割の低下を觀念せねばならぬ篠山第一、千葉第二校長らの兒童愛的苦惱とは、其の立場こそ異なれ、此際縱横の經綸抱負を發表乃至實行出來ぬ頗る深刻な所謂宮仕への悲哀を滿喫しつゝあるは漫ろに想像に難くない。尤も未だ成果を見ざる今日に於て左右の論議は時機尚早かも知れぬが之によつて從來の欠陷(假にあつたとせば)が幾分矯正されるならば寔に結構な事乍ら改善したる心算が往々却て改惡になる場合もあり得ない事では無くこの種の改正は差當り一部專門當局以外如何なる階層にもあり得ない空疏な獨善的見解として或は實施一年後、於いて舊制度に還元するではないかをさへ決して許されぬ豫見でもなささうである。今や時局は國民の優秀な頭腦と完全なる健康と即ち鐵血頑全の强靭さを準備育成せねばならぬ重大の轉機に置かれてある。秀才は素より歡迎すべきで受驗準備に殃さるる蒼白は無、が無試驗採用に因る文化人としての低下を考へねばならぬ、父兄も教員も晏如たる秋ではないと思ふ

當局の趣旨を注入

中等學校入學考査方針改正に就て

第一の全職員緊張

男女中等學校入學考査の學科試驗撤廢に關する淺水磐中校長及び市教育會長たる篠山第一校長の所見は大体既報の如く、今や問題は當局の三者綜合考査より一歩を出でられぬ現實に當面したわけで之に因り一躍市街地の優良兒童と同架に置かるることになつた農漁山村の受驗生の明朗に引き換へ從來に比し遙かに合格者の激減を觀念せねばならぬ當該校長以下關係職員の憂欝振りは全く見るも氣の毒な程であり、而も大凡その方針が決定した以上飽く迄之に對應するの決心に出ねばならぬとした第一校では此際當局の方針を正認識せしめ遺憾なき趣旨の徹底によつて指導運營の萬全を期すべく此程之に關する縣の說明を謄寫に附し全職員に頒ち向來の心構へに就て示唆する處あつたなど日と共に眞劍味を增しつゝある摸樣である

事務輻湊の平局に 主査と取締役配置

能率增進に新曙光

在市官廳隨一の大世帶として男女二百二十餘名の職員を擁する平局では局長の下に十一名の主事を置き各部門の指導監督に當つてゐるが躍進都市の通信機關として常に事務の輻湊甚しく之を統一する局長の事務分量は可なりに多く前記主事以外實際的補佐役の必要を痛感されてゐたが今回人不足の集配三等局の救濟策として仙台遞信局管內七百卅一局に主査といふ局長補佐役をまた事務量の多い集配局四百廿一局に集配員の指導に當る取締役を配置すると共に平局も當然之が實施と共に從來に於ける局長の多忙は或る程度迄緩和さることになつた

主査は從來の特三局、一二等の主事に相當するもので主事の任免權は遞信局長であるが主査は當該局長がその任免の權を握つてゐる　新設二役は一局一名で去る六日から實施を見大體移入を排し現位置から昇格するので兎角「狹き門」の郵便局員にとつては新たな道が拓けたわけである、なほ今までの局長代理の名稱はこれで自然解消された

巡査採用試驗

本年度第三回本縣巡査採用試驗は來る廿日各警察署で執行するが從來の第二次試驗を撤廢、敎習六ケ月も時局柄四ケ月に短縮、明春三月末各署へ配置する

人口現在數

統計局で調査

內閣統計局の推計に係る去月一日現在市、郡下の人口左の如し

△平市男一四、八〇〇名女一四、九〇〇計二九、七〇〇名

△石城男一〇八、一〇〇名女一〇四、〇〇〇名計二一二、一〇〇名

傷痍軍人健康相談

市內居住者は十七日

「傷痍軍人の醫療と適職斡旋に資する」平保健所の健康診斷は傷痍軍人相談所、職業紹介所等と連絡して來る十七、八兩日午前九時から午後一時迄青沼所長により行ふ受檢區域は左の如くである

(十七日)平、飯野、湯本、內郷、赤井、好間、永戸、箕輪、澤渡、三阪、草野、大浦、四倉、上下小川、川前、神谷、大野(十八日)泉、渡邊、植田、山田、錦、勿來、上遠野、入遠野、川部、田人外三ケ村、夏井、高久、豊間、江名、小名濱、磐崎、玉川、鹿島

。。。。傳貧馬檢診　石城産馬畜産組合では十四日から二十六日迄三森技手により左記日割で馬の傳染性貧血豫防檢診を執行する

△十四―十六日入遠野△十七、十八日上遠野△二十二、三日永戸△二十四日、二十六日三坂澤渡

。。。。養蠶組合長會　植田方部二町五ケ村三十名の養蠶組合長會を此程植田集繭所に開き連成桑園設置、外繭增産計畫策等を協議、十五年度の繭品評會を植田町に開催すべく誘致法方を打合せた

つた

月見町一三、〇〇　鎌田町六、八〇　南町五八、〇〇

。。。。武道大會打合　武德會植田分會で本年度武道大會の打合會を十三日午前十時から植田署に開く

大陸の母決る

勿來の渡邊さん渡滿

勿來町九面渡邊カツ子さん(三五)は滿蒙開拓青少年義勇軍現地訓練の指導者たる「大陸の母」として採用され、十四日から東京市澁谷區千駄ケ谷の聖學苑で訓練を受けた上渡滿する

陣中を聽く

……………(492)……………

戰場に御紙を見て實に懷しく感じた

元野麥社同人　伊藤弘道君(通信)

拜啓、K先生、私の名を御存知でせうか、勿論私は先生の名を存じて居ります。が私の事は或は知らぬかと思ひます。平で「野麥」と云ふ雜誌が發刊になりましたねあの頭は皆々樣の御力によつて辛じて誌友として每號數首の短歌を發表さして戴きました、勿論拙い歌でありまして申すにも恥しい次第です。初めは、本名で發表さして戴き、後には白鷺あきらのペンネームで出してゐたのがこの私であります。あの時御世話になつたのは吉岡獨步野本多霞夫氏の援助に依つたものでした。

あれから數ケ月私は鶴岡部隊に入營して暫く文筆を忘れた生活をして今日に及びました。大陸へ來てから一等兵に進級いたしましたが兵隊としては未だ日なは淺い私です。

私の今の仕事は〇〇でありまして、同じ班に、公家筋と云ふ軍曹殿が居ります。この人も文筆には相當の人であるらしく『日日』の紙上に故郷に居た頃、その人の隨筆を見たこともありました。白虎部隊と云ふ本がありますがあれは秦覽助の著書ですがあれの骨子を形ど成するものは、公家軍曹殿の日誌である話です。何かす御紙上に求めますならば書いてくれることゝ思ひます生れは河沼郡の高田とか。

私はこゝに來て一度貴紙を拜見してとてもなつかしい氣が致しました。で甚だ僭越とは存じ乍ら別紙に隨筆風のものを書いて、或いは貴紙上に發表して貰へるならと云ふ樣な極めて無謀な考へを抱いてお送りいたす氣になつた次第であります。もとより無理にとは申しませんし、貴紙の名を辱かしめる樣なものでしたらたゞ單に私信として屑籠の中に抹殺さるともうらみに存ずる樣なさもしい心もないつもりでありますれば如何樣にも御判斷に御一任申し上げます。

甚だ勝手がましき事ばかり申し上げ申譯もありません。末筆乍ら貴紙の御隆盛をお祈り申し上げます敬具

狸の向ふを張つて狐の展覽即賣會

十五日から驛前で開催

今や殆ど最高潮に達してゐる養狸熱の向ふを張つて地方にも近來漸く養狐の飼育研究が始められて來たがこの時運に鑑みた樺太廳中央試驗場血統種狐を分讓してゐる大日本養狐場では明後十五日より四日間驛前平劇場跡に展覽會を催し併せて即賣することになつたが此種中の逸品銀狐をはじめ參考品等多數出陳すると

賭博の送局

既報、平署賭博狩りの網にかゝつた一味十三名は取調べ終了と共に今十三日送局された

愛婦忠靈塔基金纒る

既報、愛國婦人會平分會募集忠靈塔建設資金其後の分左の如く總計五百七十一圓五十二錢に上る

胡摩澤青年團 資金造成映畫

市內第十五區(胡摩澤)青年分團では國防基金、國防獻金、市銃後奉公會へ寄附資金等を造成のため明十四日午後六時から平館に於て左記映畫會を催すべく會員券(金二十五錢)八百枚を前賣り中である

(番組)1各社ニュース2日活多摩川文化映畫陸軍士官學校3朝日世界ニュース4時代劇山彥呪文5現代劇美しき首途

磐中X畫展

十八日から三日 於磐城訓盲院で

地方に於ける美術方面の清純な催しとして極めて健全な發逞道程を辿つてゐる磐城中學校X會の第五十三回展覽會は來る十八日より二十日迄市內磐城訓盲院に於て開催するが今回は參考品として東京圖書敎育奬勵會より現代大家の作品十數點の特別出品あり場內一入の精彩を加へることになつてゐる

五圓券にも割增金

ナスを覘ふ債券賣出し

土地柄消化旺盛豫想さる

勸業銀行では年末ボーナス期をねらつて來月十一日から本年度最終の支那事變貯蓄債券總額七千五百萬圓を賣出す、十圓券と五圓券の二種類で十圓券には從來通り一等割增金千五百圓がつくが今度始めて五圓券に一等割增金七百五十圓が登場する初回抽籤は來年四月一日で以後每年四月九月に行はれ昭和三十二年五月まで償還される、炭礦工場等ボーナス關係者を多數擁して居る平をはじめ好間、內郷、赤井、湯本等の各局に於ける消化振りは極めて旺盛なものがあらうと豫想される

菅原曹長 好間村葬

好間村大字上好間字小館三七號(本籍茨城縣多賀郡高萩町)菅原加賀次郎曹長の村葬は來る十九日午後一時から同村小學校講堂に於て執行される

平機關區に凱歌

水運管內軟式野球で

强豪水戸運事を敗る

平機關區は十一、二の兩日水府グラウンドに擧行された水戸運輸、保線兩事務管本年度軟式野球大會に出場準決勝戰で水戸機關區を一蹴、決勝に進み水戸運事と對戰、白熱戰を演じた結果きはどいところで凱歌を奏した

水	0	0	0	0	0	0	1	A	1
平	0	0	0	0	1	0	1	A	2

(メンバー)監督鬼澤、主將佐藤、投尊野、捕鈴木、一船山、二矢吹、三佐藤、遊橋本、左鈴木、中木村、右根本

磐城丸出港

漁場調査へ

小名濱水產試驗所指導船磐城丸は金華山千浬沖合のめかじきはへ網漁場調査のため十五日頃出港

統計主任會

平市並に石城郡下の市町村統計主任會を二十日午前九時から平市に開き本年より實施の

商業及び工業調査の事務打合せをなす

。。。。植田兵事主任會　植田署管內二町八ケ村兵事主任會を十一日午前九時より上遠野村役場に開き銃後强化其他諸事項協議

羊毛講演會

小名濱女子青年團主催羊毛資源確保並に羊毛報國運動協議會及び講演會は十五日午後一時から小名濱小學校に開く講師は日本羊毛普及會理事長高橋六郎氏

逬る赤誠

市內鎌田遊廓豆樓女將長谷川すいさんはタバコの銀紙一貫匁餘を國防費の一部に當てゝ下さいと市役所寄託

市內仲間町出身南波三郎氏は前線で負傷、目下〇〇病院で療養中だが此程市國防婦人會代表から贈られた見舞金三圓をそつくり市銃後奉公會へ寄附

十一月十四日　火曜　新　乙卯　先勝　定　尾宿

▲一白　少し宛は吉き方に向けども無理は通らぬ日▲二黑　口さへつゝしめば上下和合何事も張合よく運ぶ▲三碧　うきくもの樣に落付き定かならざる海運の日▲四綠　望み大に過ぐればまとまり付かず程合が肝心▲五黃　結算を見れば思ふたよりも得る所の多き日▲六白　實業にし且つ萬事手控へして堅く守るべし▲七赤　能くよく注意して過まざれば咋せうに當る日▲八白　仕入れは注意すべきも他の事は多く通達す▲九紫　迷ふことなく所信に向つて徐々に進むべし

十四日【小名濱測候所觀測】滿潮 前五、〇〇 後三、一五 干潮 前九、五〇 後一〇、三五

廣告

平市驛前 旅館 とらや 電話六四八番

おでん たつた揚 やきとり 一平 電話二六三番

夜間診療
胃腸性病
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科 專門
(見習看護婦募集)
松村胃腸性病科醫院 (平市南町電一〇七番)

酒ハ白菊
酒之王 君德 クントク
秋田・伊藤本家吟釀
平市田町 特約店 白菊廣瀨支店 電話五四番

北日本養狐場
樺太廳中央試驗場血統種狐分讓
平市出張即賣會事務所
平市驛前とらや旅館內〔電話六四八番〕

展覽會並に即賣會
毛皮界の王座銀狐
期日 來る十一月十五日ヨリ四日間 毎日午前八時煙火合圖
場所 平市驛前劇場あと
出品頭數 ピカ一揃 六十頭
外參考品 多數出品
入場料 無料
展覽會開催記念のため先着順をもつて多產血統優秀經產狐四十頭有利條件附にて貸付御相談に應じます。お早く申込を

純綿利用加工時代!
染め物は
質實と技術の優秀を誇る
迅速 叮嚀
吉田屋染工場
平市五丁目 電話五五八番